

8-3-5 建設コンサルタントの新たな役割 検討WG

1. 主な活動の記録

(1) WG の開催

WG 開催回数：10 回（企画委員会と同一日に開催）

(2) WG の活動内容

当 WG は、中期行動計画（2023～2026）の施策「1-1 社会資本整備のあり方と建設コンサルタントの役割の提案」を担当し、国民ニーズと社会環境の変化を踏まえて、今後の社会資本整備のあり方や建設コンサルタントの果たすべき役割を検討し提案することを目的としている。

a) 建設コンサルタントの新たな役割検討

インフラを取り巻く環境の未来予想に基づき、とりまとめた「建設コンサルタントの新たな役割提言（案）」の新たな役割により社会課題を解決する DX の取組みとして、協会内の情報交流やビジネスマッチングを想定したプラットフォームを検討した。

また、上記検討結果の一部を建設コンサルタント白書「建設コンサルタントの役割とその多様化」に掲載した。

検討に際しては、インフラストラクチャー研究所と合同協議により検討を進めた。

① 技術検索プラットフォームの目的

建設コンサルタントの新たな役割として、異業種連携や事業主体、地域・広域コンサルタントの技術連携等を進める上でのツールとして、会員各社の技術検索ができるプラットフォームを構築することを目的とする。

利用者	目的
一般	インフラに関する技術的な相談 ⇔建設コンサルタントの PR
企業	異業種連携
自治体	地方公共サービスの技術支援（災害時等）
建コン協会 会員	地域・広域連携、技術提携、教育 （人材育成）

② 技術検索プラットフォームのサイト（案）

- ・建コン協会 HP にバナーを追加する。
- ・建コン協会 HP と別のサーバーでシステムを構築する。

- ・検索項目は、事業分野（RCCM）と事業テーマ（防災・減災、安全・安心、自然環境保全・再生、カーボンニュートラル、再生可能エネルギー、まちづくり、にぎわい創出、民間開発、交通・運輸、移動（モビリティ）、ICT・デジタル技術、衛星情報サービス、AI 活用技術、維持管理・アセットマネジメント、海外事業、研究開発、資金調達、官民連携、行政支援等）から複数選択が可能な仕組みとする。

- ・各社から提供してもらう情報は、事業分野、事業テーマ、タイトル、概要（150 文字程度、企業名、URL（すでに各社で作成している技術情報サイトへのリンク））、掲載日とする。

2. 次年度の活動について

これまでの議論を踏まえ、以下について検討する。

(1) 技術検索プラットフォームの構築

会員各社の技術検索ができるプラットフォームを構築する。

(2) ビジネスマッチング支援方策の検討

マッチング支援方策の検討にあたり、建設業や異業種、地域コンサルタント、若手技術者、プラットフォーム等に幅広くヒアリングを行い、ニーズを把握する。

（建設コンサルタントの新たな役割検討WG

WG 長 村上 広）